

同窓会会報

熊本大学医学部保健学科 第12号



目次	同窓会会長あいさつ.....	1
	保健学教育部長あいさつ.....	2
	在校生の寄稿.....	3
	特別企画.....	4
	同窓会総会議事録.....	5
	特別講演.....	7
	熊本大学卒業生表彰.....	8
	国家試験合格状況.....	8
	平成27年度卒業生の進路状況	9
	保健学科教員紹介.....	9
	同窓会会則・細則.....	10
	平成28年度熊本大学医学部保健学科同窓会役員.....	11

平成29年度保健学科同窓会総会、
特別講演、懇親会のご案内

日時：平成29年7月1日（土）
14時00分より

場所：熊本大学医学部保健学科

住所変更・会報不要の方は、下記にご連絡ください。

TEL：096-382-1177（小野高速印刷）

メール：kumamoto@ohp.co.jp（小野高速印刷）

ご 挨拶

同窓会会長 **橋 田 昌 弘** (熊本大学医学部附属病院 医療技術部)

4月の熊本地震で被災された皆様へ、心からお見舞い申し上げます。早く普段どおりの生活に戻れることをお祈り申し上げます。保健学科は、建物に大きな被害はなかったものの、装置、実験機器、パソコン等の備品関係で大きな被害が出ました。同窓会として、何か保健学科へ支援ができないか検討し、平成28年7月の第13回総会で、支援金を提案しご了承を頂きました。同窓会の貴重な財源からの支出に、快くご賛同頂きました会員の皆様に、深く感謝申し上げます。被害総額に比べると、支援金の金額は少ないのですが、少しは保健学科のお役に立てたと思っています。また、熊本大学が創設した「熊本大学基金」と「熊本地震復興事業基金」があり、これらの基金の「保健学科へ支援」を選択すると、直接、ご寄附が保健学科に届きます。同封の申込書をお使いになるか熊本大学ホームページからも申し込めます。是非、母校の復興にお力添え頂けると幸いです。現在（9月）も忘れた頃に余震があり、なかなか安心できません。しかし、前向きに少しずつでも進めたらと思います。

平成28年7月2日に第13回総会・特別講演・懇親会を開催し、総会に59名（内：学生32名）、懇親会に35名（内：学生17名）の参加を頂き心から感謝申し上げます。熊本地震の影響で総会開催を危ぶむ声もありましたが、いつもの事をいつもの様に実行することが、地震後の復興につながると思い、予定どおりの開催としました。幸い余震もなく安全に開催できました。地震の影響で、参加者が減少するかもしれないと思いましたが、ほぼ例年どおりの参加者数でホッとしています。特別講演は、快整館の整体師の坂田様に、「命の法則「快医学」息・食・動・想・環のバランスを快方向へ」と題してご講演頂きました。坂田様も地震で被災され引越しを余儀なくされている状況でのご講演で、心から感謝申し上げます。元々人間は「快」を求めている、身体、食事、環境等を体の求めるものとするのが健康の源と話され、実技も含めてのご講演でした。

今年の総会では、特別企画として「熊本地震を経験して」をテーマに、看護、検査、放射から地震時（後）の対応や災害医療に関して、実際の経験を発表してもらいました。熊本市保健所（感染管理認定看護師）の本田先生には避難所での感染対策や衛生環境に関して、熊本大学病院中央検査部の福吉先生には避難所でのエコノミークラス症候群防止のための下肢超音波検診に関して、熊本大学病院中央放射線部の下之坊先生にはDMAT隊員としての活動に関して、ご講演をお願いしました。各講演とも各職種の知識とスキルを活かした災害時の活動で、ご本人も被災している中での活動で頭が下がる思いでした。また、聴講した学生さんからは、災害医療の現場を知ることができたとの声があり、好評の内容でした。批判を承知で敢えて言いますと、地震の貴重な体験を未来に活かせることができたと思っています。

更新した「同窓会名簿」が11月に発刊されます。是非多くの皆様にご購入頂き、同窓生との交流等に役立てて頂ければと思います。同窓会名簿は、同窓会にとって貴重なデータベースですので、今後の更新時にも正確な情報の提供をお願いいたします。

本同窓会の運営は、新入会時の永年会費とご寄附が財政基盤となっています。この紙面をお借りして、ご寄附された会員、関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。同窓会として毎年の卒業生による会員増加は嬉しいことなのですが、財政的には厳しい面もあり、今後もご寄附に頼らざる得ません。図々しいお願いで恐縮なのですが、是非とも、ご寄附をお願いできますと幸いです。

お願いごとが多い挨拶になり、申し訳ありません。

同窓会総会・講演会・懇親会は、7月の第1土曜日が定例で、平成29年は7月1日です。是非、多くの皆様の参加をお願いいたします。今後とも、同窓会をよろしく願い申し上げます。

復興支援に対する御礼とお願い

大学院保健学教育部長・保健学科長 吉 永 一 也

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝にて益々ご活躍のことと拝察申し上げます。

はじめに、先の「平成28年熊本地震」により被災された卒業生並びにご家族の皆様には、心からのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

保健学科におきましては、地震発生直後より地域の避難所となった医学部体育館で、学生・教職員は専門性や日頃の団結力を活かしたボランティア支援活動に積極的に取り組み、多くの地域住民から感謝の言葉を頂きました。一方、被災した学生をはじめ、保健学科の建物や設備は大きな被害を受けました。建物の外・内壁には大小の亀裂が生じ、とくに築40年（耐震補強無し）のA・B・C各棟のジョイント部分が著しく破損し、現在も応急処置を施して雨漏りを防いでいる状況です。完全復旧まで長い時間を要し、今後の教育研究活動に影響が及ぶことは避けられません。また、授業再開後もメンタルなサポートが必要な学生も少なくありません。こうした数々の困難に対し、教職員一同は、本来の教育・研究機能を取り戻すべく復旧・復興に向けて全力を挙げて取り組んでいるところです。

今回の震災に際し、卒業生の皆様からご支援及びご心配や励ましのお言葉いただき、誠にありがとうございました。同窓会からも多大なご寄附をいただき、紙面をお借りし重ねて御礼申し上げます。保健学科の復旧・復興とさらなる飛躍を遂げるために、引き続き教職員一丸となって頑張っておりますので、今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【追記】本学では「熊本地震復興事業基金」(<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kikin/fukkou/fukkou>)を設けて寄附金（義援金）をお受けしておりますが、今回、熊本大学基金の中に「医学部保健学科教育研究支援事業」を新設し、部局を指定してのご寄付も可能となりました。被災した学生や保健学科・教育部の教育研究のためにご協力をいただければ幸いです。

（平成28年8月記）

原稿募集！！

あなたの同窓会を載せてみませんか？

在校生の寄稿

4年間の大学生活を通して

看護学専攻4年 後藤 愛子

4年間の大学生活も残り半年となった今、これまでを振り返ると、4年という時間はあっという間だった気がします。その中でも臨地実習は、日々看護について学び、考える濃密な時間でした。

実習中に、私の表情について、看護師から「もっと笑顔で」「困った顔になっている」と指摘されたことがありました。それまでの私は、自分の表情について改めて鏡で確認することもなく、普段自分がどのような表情で人と接しているのかあまり気に留めていませんでした。自分が話をする時に相手に伝わる言葉遣いや声の調子等と違い、「表情」は、常に相手に伝わるものです。このことに気づいた時、身体的・精神的な苦痛の中にいる患者さんやそのご家族が少しでも身体や心が休まるようにと日々関わる看護師には、その表情一つひとつも非常に大切であると実感しました。

これから看護師として働くにあたって、確かな医学的知識・技術を身につけることはもちろん、私自身そして相手の表情を大切に、人と関わっていきたくです。

地元を離れ熊本で過ごした4年間は、学ぶこと、感じることがたくさんありました。その中で、今年4月の熊本地震は辛い経験ですが、一人の生活者として、そして医療従事者としてこの経験を無駄にせず、今後の人生を歩んでいきたいと思えます。

多くの師に恵まれて

検査技術科学専攻4年 池部 桂生

熊本大学医学部保健学科の学生として過ごした4年間、私は多くの師にお世話になりました。

医の道を志すための知識を教えてくださいました。先生の先生方、ありがとうございます。展開が早いと感じた講義も難しくすぎると感じたテストも全部、私が将来働くうえで必要不可欠な知識を教えてくださいました。今考えるとどの講義も、より興味を惹きたてるには、より分かりやすくさせるにはと考え込まれた講義だったと分かります。

臨床検査技師に必要な極意を教えてくださいました。病院実習での技師の先生方、ありがとうございます。技師として必要な知識、技術、振る舞い、その一挙一動を見逃すまいとして実際の病院で学んだ10週間は私を高めてくれました。ただ漫然と過ごしてきた私が将来の姿を具体的にイメージできたのも先生方のおかげです。

普段は仲良く、でも時にはライバルや師となってくれた先輩後輩クラスメートの皆さん、ありがとうございます。共に考え共に過ごした学生生活はどれも刺激的で私一人では到底叶わない発想も活動も全部、みんなと一緒にだからできました。ここまで来ることができたのも皆のおかげです。

こんなに数多くの師に恵まれて過ごせた私は本当に幸せです。私を育ててくれた師に少しでも追いつけるように、胸を張って肩を並べて歩けるようにここからは私自身が一層努力していきたいと思えます。本当にありがとうございました。どうかもう少しだけ見守ってください。

大学院進学を決意した理由と進学後の学びについて

保健学教育学部 博士前期課程 がん看護専攻2年 森枝紗季子

学生頃の実習で終末期のがん患者さんを担当させて頂いたことを契機に、卒業後は成人看護の腫瘍外科・内科で臨床経験を積みました。臨床で困難な事例を数多く経験する中で看護の難しさに悩み葛藤する日々が続く、患者さんのために良い看護ができるようになりたいという思いで臨床経験6年目に大学院へ進学しました。結婚した時期で進学を悩みましたが、本校の恩師に相談に乗っていただき決意しました。院生は臨床経験も年齢も様々で、子育てや勤務しながら在学している方が多いことは特徴の一つです。

大学院の講義は、院生が資料作成しプレゼンしてディスカッションする形が基本です。少人数体制の講義が多く、教授・准教授や専門看護師、認定看護師、看護部長から指導を受け、熟練看護師の同級生を交えてディスカッションする環境は贅沢で、深く刺激的な学びができます。入学後、「今まで培った看護観の土台を崩して下さい」と言われたことが印象に残っていますが、1年半過ぎて看護観が大きく変化したことを実感しています。

そして大学院といえば、研究手法を学び論文作成することが重要な課題となります。研究は苦手ですが、なぜ研究をする必要があるのか、今後の看護の発展のためにどのような研究をすべきなのかということを考えて研究意義が理解できます。苦しい部分も多いですが、奮闘して乗り越えたいです。

臨床実習を終えて

放射線技術科学専攻4年 星田 憲人

私は放射線技師を志し、この熊本大学に進学したものの、自分の将来についてただ漠然とした考えのまま大学生活を過ごしてきました。しかし、10週間の臨床実習を通して、多くのことを学ぶと共に、自分の将来について考えることができました。

実習が始まる前は、今まで学校の授業などで勉強したことへの復習や、国家試験の勉強になればいいな、というような考えで臨んでいました。しかし、実習が始まり実際に臨床の現場で働く放射線技師の方々を目の当たりにすると、学校の授業だけでは学ぶことができないことが多くあることに気付きました。

臨床実習で最も学んだこととして、患者様とのコミュニケーションの重要性があります。現場で働く技師の方々を見ると、患者様ひとりひとりに声を掛け、安心して検査・治療を受けることが出来るように接する様子が印象的でした。私は患者様の診断だけでなく治療ができる放射線治療に魅力を感じたため、現在放射線治療分野の研究室に所属しています。放射線治療では、患者様と長い期間接することになるため、更にコミュニケーション能力が必要となり、自分が身につけなければならないことであると感じました。

この10週間の臨床実習の中で、今まで勉強してきた知識を深めると共に、放射線技師として働くために必要なことも学ぶことが出来ました。また、自分の理想の技師像を見つけることも出来ました。

今回の臨床実習でお世話になった放射線技師の方々に深く感謝し、理想の技師像を目指し努力をしたいと思えます。

同窓会総会 特別企画 「熊本地震を体験して」

今年4月に発生した熊本地震、この地震で多くの避難者や家屋の倒壊、災害に関連した被害や犠牲も相次いで発生しました。現在も被災地では随所で災害医療活動が展開されており、今回の同窓会総会では特別企画として看護・放射・検査の各分野において災害医療活動状況についてご講演頂きました。



【看護】熊本地震時の活動報告～感染管理認定看護師の立場から～ 本田法子様



【放射】災害派遣医療チーム（DMAT）の概要と熊本地震における活動 下之坊俊明様



【検査】避難生活によるエコノミー症候群を防ぐために！
～チーム医療としての深部静脈血栓症（DVT）検診活動～ 福吉葉子様

第13回熊本大学医学部保健学科同窓会総会議事録

日 時 平成28年7月2日（土） 14:00～17:00
 場 所 熊本大学医学部保健学科C503（5F）
 出席者数 52名
 議 長 石原隆一先生（医師会検査センター技師長）

<総会式次第>

開会の辞
 同窓会会長挨拶
 保健学教育部長挨拶
 議長選出
 議事

1. 平成27年度事業及び会計に関する報告
 - ① 事業報告
 - ② 決算報告
 - ③ 監査報告
 2. 平成28年度事業計画（案）
 3. 平成28年度予算（案）
 4. 同窓会表彰
 看護学専攻：伊藤 鈴菜さん、児玉 茉希さん
 放射線技術科学専攻：星田 憲人さん
 検査技術科学専攻：池部 桂生さん、古賀 恵さん
 5. その他
- 閉会の辞

【議事要旨】

14時、春田副会長より開会が告げられ第13回同窓会総会が開会された。

最初に、橋田会長が会を代表して挨拶を行い、続いて吉永一也熊本大学大学院保健学教育部長の挨拶が行われた。その後、石原先生（医師会検査センター技師長）が総会議長に選出され、議事に従い4項目の議案の審議が行われた。

1. 平成27年度事業報告及び会計に関する報告

橋田会長より保健学科のオープンキャンパスへの支援や同窓会会報第11号発行、第12回同窓会連合会への参加、卒業生表彰、同窓会表彰、名簿作成の準備等、1年間の事業が報告された。松本会計幹事より27年度の会計について決算状況が報告された。その後、木村監事より、平成28年3月28日に行った会計の監査結果について、適正であったとの報告が行われた。質疑応答では特に質問はなく、その後賛成多数で平成27年度事業報告、決算報告並びに会計監査報告は賛成多数で承認された。

2. 平成28年度事業計画（案）について

橋田会長より、平成28年度事業計画（案）について説明があり、昨年の事業に加えて、名簿作成、保健学科震災支援が今年度に行われる旨の説明があった。

3. 平成28年度予算（案）について

平成28年度予算（案）について松本会計幹事より説明があった。また橋田会長から名簿作成と保健学科震災支援として100万円を寄付する説明が行われた。質疑応答では特に質問はなく、その後、採決を行い、参加者の賛成多数で平成27年度事業報告（案）、平成28年度会計予算（案）は承認された。



第13回同窓会

4. 同窓会表彰

平成28年度同窓会表彰が行われ、橋田会長から看護学専攻 伊藤 鈴菜さん、児玉 茉希さん、放射線技術科学専攻 星田 憲人さん、検査技術科学専攻 池部 桂生さん、古賀 恵さんへ感謝状が送られた。



以上で、議案審議が全て終了し、議長は、降壇した。
最後に、春田副会長より閉会の挨拶があり、同窓会総会は、14時34分に終了した。

次に各専攻の紹介において、看護学専攻 本田先生、放射線技術科学専攻 下之坊先生、検査技術学専攻 福吉先生から特別企画「熊本地震を経験して」の発表が行われた。

最後に特別講演として快整館 坂田道音先生より「命の法則「快医学」息・食・動・想・環のバランスを快方向へ」と題した講演会を行い、その後、懇親会が行われた。

平成28年7月2日
議事録署名人 大野 剛



特別講演

「命の法則『快医学』息・食・動・想・環のバランスを快方向へ」

坂田 道音 先生（熊本代替療法研究会、快整館）

講師の坂田先生は、整体師として“気持ちよく楽な方向に身体を動かすことで骨と筋肉のゆがみが正されていく”という「操体法」や、「頭蓋仙骨療法」、「温熱療法」をご専門とされています。自宅や出張での整体を行いながら、熊本や大分、長崎などでワークショップを開催されているそうです。

今回は、「私たちの健康を考える時、息（呼吸）・食（食事）・動（身体の動き）・想（想い）・環（環境）はすべて連動している」「環境はなかなか変えられないが、息・食・動は変えることができる。1つが良くなるとすべて良くなる」といった内容について、整体の実演を交えながらご講演くださいました。日ごろの生

活を振り返るよい機会となり、ぜひ実践していきたいと思います。



熊本大学卒業生表彰

平成28年度国立大学法人熊本大学卒業生表彰の表彰式が、11月12日の第11回ホームカミングデーに開催されます。この会報が発刊される頃かと思います。この表彰は、熊本大学の発展又は社会からの理解促進につながる顕著な功績のあった本学卒業生に対し、学長が行うもので、今回は第5回になります。

本年度、保健学科同窓会より以下の方々が表彰されました。

木村 眞知子様(熊本大学医学部附属看護学校 昭和45年卒業)

内布 敦子様(熊本大学医学部附属看護学校 昭和51年卒業)

昨年の第4回の卒業生表彰は、前回の会報でもお知らせいたしました。看護専攻から宮崎 寛子様、松本 ヤヨイ様、放射線専攻からは平田 幸徳様が表彰を受けられました。表彰時の写真を掲載しています。



第4回卒業生表彰(平成27年)



国家試験合格状況

平成28年3月

試験種類	受験年度	本学新卒者			全国(合既卒者)		
		受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%) <small>(うち新卒者)</small>
看護師	23	70	69	98.6	53,702	48,400	90.1
	24	67	67	100.0	56,530	50,224	88.8
	25	68	68	100.0	58,891	52,900	89.8 (95.2)
	26	70	69	98.6	60,947	54,871	90.0 (95.5)
	27	69	69	100.0	62,154	55,585	89.4 (94.9)
保健師	23	78	74	94.9	15,758	13,555	86.0
	24	72	71	98.6	16,420	15,764	96.0
	25	73	73	100.0	17,308	14,970	86.5 (88.8)
	26	74	74	100.0	16,622	16,517	99.4 (99.6)
	27	28	28	100.0	8,799	7,901	89.8 (92.6)
助産師	23	14	13	92.9	2,132	2,026	95.0
	24	13	13	100.0	2,113	2,072	98.1
	25	12	12	100.0	2,079	2,015	96.9 (97.6)
	26	10	10	100.0	2,037	2,034	99.9 (99.9)
	27	16	16	100.0	2,008	2,003	99.8 (99.8)
診療放射線技師	23	39	38	97.4	2,528	2,109	83.4
	24	35	31	88.6	2,426	1,615	66.6
	25	35	34	97.1	2,907	2,224	76.5 (89.9)
	26	42	39	92.9	2,839	2,094	73.8 (85.2)
	27	37	34	91.9	3,016	2,377	78.8 (90.9)
臨床検査技師	23	37	35	94.6	4,012	3,027	75.4
	24	39	34	87.2	4,097	3,162	77.2
	25	41	40	97.6	4,148	3,368	81.2 (94.3)
	26	37	36	97.3	4,298	3,528	82.1 (93.8)
	27	47	43	91.5	4,400	3,363	76.4 (87.4)

平成27年度卒業生の進路状況等について

H28.4.4

看護学専攻（卒業生69名）		
（就職）		
熊本大学医学部附属病院	熊本県	15
熊本赤十字病院	熊本県	1
熊本市立熊本市市民病院	熊本県	2
医療法人聖粒会 慈恵病院	熊本県	1
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	熊本県	4
医療法人社団愛育会 福田病院	熊本県	1
熊本県庁	熊本県	1
熊本市役所	熊本県	1
熊本北区役所	熊本県	1
合志市	熊本県	1
八代市役所 保健センター	熊本県	1
九州大学病院	福岡県	5
福岡大学病院	福岡県	3
一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院	福岡県	1
麻生飯塚病院	福岡県	1
久留米市	福岡県	1
粕屋町役場	福岡県	1
産業医科大学病院	福岡県	1
大分大学医学部附属病院	大分県	1
宮崎県庁	宮崎県	1
鹿児島市立病院	鹿児島県	3
出水市立出水病院	鹿児島県	1
鹿児島市役所	鹿児島県	1
日本赤十字社 伊達赤十字病院	北海道	1
戸田中央病院	埼玉県	1
昭和大学病院	東京都	1
国家公務員共済組合連合会 三宿病院	東京都	1
東京大学医学部附属病院	東京都	1
慶應義塾大学病院	東京都	1
国立国際医療研究センター病院	東京都	1
株式会社テンポスバスターズ	東京都	1
昭和大学横浜市北部病院	神奈川県	1
独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院	神奈川県	1
独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター	滋賀県	1
和泉市立病院	大阪府	1
兵庫県立こども病院	兵庫県	1
神戸大学医学部附属病院	兵庫県	1
島根県	島根県	1

看護学専攻（卒業生69名）		
（就職活動中）		
未定（就職活動中）		1
就職小計		65
（進学）		
熊本大学養護教諭特別科	熊本県	1
熊本保健科学大学助産科	熊本県	2
福岡水巻助産学校	福岡県	1
進学小計		4

放射線技術科学専攻（卒業生37名）		
（就職）		
熊本大学医学部附属病院	熊本県	1
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	熊本県	1
社会医療法人社団高野会 高野病院	熊本県	1
熊本赤十字病院	熊本県	1
熊本市医師会熊本地域医療センター	熊本県	1
独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院	熊本県	1
公立玉名中央病院	熊本県	1
熊本県総合保健センター	熊本県	1
独立行政法人国立病院機構九州グループ	福岡県	2
医療法人社団高邦会 福岡山王病院	福岡県	1
北九州市立病院	福岡県	1
飯塚病院	福岡県	1
大分県	大分県	1
大分県医療生活協同組合大分健生病院	大分県	1
唐津赤十字病院	佐賀県	1
宮崎大学医学部附属病院	宮崎県	1
公益社団法人鹿児島共済会 南風病院	鹿児島県	2
社会医療法人博愛会 相良病院	鹿児島県	2
社会医療法人敬愛会	沖縄県	1
昭和大学病院	東京都	1
総合東京病院	東京都	1
社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院	神奈川県	1
山口県済生会下関総合病院	山口県	1
下関市立市民病院	山口県	1
独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院	山口県	1
就職小計		28
（進学）		
熊本大学大学院保健学教育部	熊本県	8

放射線技術科学専攻（卒業生37名）		
（就職）		
研究生・科目等履修生	熊本県	1
進学小計		9

検査技術科学専攻（卒業生47名）		
（就職）		
医療法人厚生会リハビリテーションセンター 熊本回生会病院	熊本県	1
医療法人聖命会ART女性クリニック	熊本県	1
水俣市立総合医療センター	熊本県	1
医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院	熊本県	1
日本赤十字社熊本健康管理センター	熊本県	1
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	熊本県	1
熊本市	熊本県	1
一般社団法人 菊池都市医師会立病院	熊本県	1
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	熊本県	1
熊本大学	熊本県	1
久留米大学病院	福岡県	1
医療法人社団高邦会 高木病院	福岡県	4
福岡大学病院	福岡県	2
福岡県済生会 福岡総合病院	福岡県	1
社会医療法人財団池友会 福岡和白病院	福岡県	3
社会医療法人財団池友会 福岡新水巻病院	福岡県	1
医療法人 原三信病院	福岡県	1
社会医療法人敬和会 大分岡病院	大分県	1
社会医療法人祐愛会 織田病院	佐賀県	1
長崎大学病院	長崎県	1
宮崎県立病院	宮崎県	1
一般社団法人 藤元メディカルシステム	宮崎県	1
社会医療法人天陽会 中央病院	鹿児島県	1
公益財団法人慈愛会 今村病院分院	鹿児島県	2
沖縄県立病院	沖縄県	1
株式会社L S I メディエンス	東京都	1
日本光電工業株式会社	東京都	1
大阪市民病院機構	大阪府	1
未定（就職活動中）		2
就職小計		37
（進学）		
熊本大学大学院保健学教育部	熊本県	7
熊本大学大学院医学教育部	熊本県	3
進学小計		10



保健学科教員紹介

（平成28年6月現在、五十音順）

◆看護学専攻

【基礎看護学講座】

教授：前田ひとみ

准教授：松本智春

講師：永田まなみ

助教：有松 操 南家貴美代

【看護教育学講座】

助教：福山美季

【臨床看護学講座】

教授：宇佐美しおり 河野宏明 國府浩子 三笠里香

准教授：終中智恵子 中尾富士子

助教：石飛マリコ 樋口有紀 小瀧京子

宮崎志保

【母子看護学講座】

教授：田代浩徳

准教授：坂梨京子

講師：寺岡祥子 生田まちよ

助教：島田久仁子 吉田佳代 添田梨香

【地域看護学講座】

教授：上田代子 西阪和子 東 清巳

准教授：日浦瑞枝 安武 綾

助教：松本佳代 松本千晴

助手：森 昌代

◆放射線技術科学専攻

【医用理工学講座】

教授：白石順二 富吉勝美 船間芳憲

准教授：内山良一 米田哲也

助教：大野 剛 辻田直子

【医用画像学講座】

教授：荒木不次男 伊藤茂樹 富口静二

村上龍次

講師：藤原康博

◆検査技術科学専攻

【構造機能解析学講座】

教授：大林光念 柳沼裕二 吉永一也

講師：伊藤雅浩

助教：橋本弘司 田崎雅義

【生体情報解析学講座】

教授：乾 誠治 大坪和明 大森久光

奥宮敏可 三森龍之 畑 裕之

助教：梶原隆太郎 森 信子

熊本大学医学部保健学科同窓会会則・細則

熊本大学医学部保健学科同窓会会則

第1章 総則

- 第1条 本会は、熊本大学医学部保健学科同窓会（以下「本会」という。）と称する。
- 第2条 本会は、事務局を熊本市中央区九品寺4丁目24番1号熊本大学医学部保健学科に置く。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校との連携を保ち、その教育の支援と発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- 一 会員相互の親睦及び研修に必要な事項
 - 二 母校の教育の支援・発展に関する事項
 - 三 その他必要と認められる事項
- 第5条 本会は、必要に応じて各専攻等を単位とする分科会を置くことができる。
- 2 分科会の設置及び運営に関する事項は、理事会の承認を経て各分科会が定める。

第2章 会員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
- 一 正会員
 - イ 熊本大学医学部附属看護学校、熊本大学医学部附属助産婦学校、熊本大学医学部附属エックス線技師学校、熊本大学医学部附属診療放射線技師学校、熊本大学医学部附属衛生検査技師学校、熊本大学医学部附属臨床検査技師学校を卒業又は在籍した者
 - ロ 熊本大学医療技術短期大学部を卒業又は在籍した者、熊本大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻を修了又は在籍した者、熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程を卒業又は在籍した者
 - ハ 熊本大学医学部保健学科（以下「本学科」という）を卒業又は在籍した者並びに在学生
 - 二 熊本大学大学院保健学教育部（以下「大学院」という）を修了又は在籍した者および在学生
 - 二 特別会員
 - イ 本学科教員
 - ロ 本学科及び前項の学校の元教員
 - ハ 前項以外の者で理事会の承認を得た者
- 第7条 会員が死亡または会員たる資格を喪失したときは、退会したものとみなす。
- 第8条 会員が、本会の名誉を傷つけ、または本会の趣旨に反する行為をしたときは、総会において出席会員の4分の3以上の議決により、これを除名することができる。
- 第9条 正会員は、会費（終身）として1万円を本学科入学および大学院入学時に納入するものとする。ただし、退会または除名された会員が既に納入した会費、その他の拠出金は返還しないものとする。

第3章 役員等

- 第10条 本会に次の役員を置く。
- 一 会長 1名
 - 二 副会長 2名
 - 三 理事 12名
（看護6名、検査3名、放射3名）とする。
 - 四 幹事 7名
 - 五 会計 2名
 - 六 監事 2名
- 第11条 役員は次の職務を行う。
- 一 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
 - 二 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
 - 三 理事は、会員の代表として本会の運営に当たる。
 - 四 幹事は、本会の実務に当たる。
 - 五 会計は、本会の会計事務に当たる。
 - 六 監事は、本会の会計を監査し、総会に報告する。
- 第12条 役員は、次により選出又は委嘱する。
- 一 会長は、総会において正会員の中から選出する。
 - 二 副会長は、会長が正会員の中から推薦し委嘱する。
 - 三 理事は、正会員の中から専攻毎に選出し会長が委嘱する。
 - 四 幹事は、会員の中から会長が委嘱する。
 - 五 会計は、正会員の中から会長が委嘱する。
 - 六 監事は、理事会において正会員の中から推薦し、会長が委嘱する。
- 第13条 役員は、任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 補欠による役員は、前任者の残任期間とする。
 - 3 役員は、任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行うものとする。

第4章 名誉会長及び顧問

- 第14条 本会に名誉会長を置き、保健学教育部長を推戴する。
- 第15条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会の議を経て会長が委嘱する。
- 2 顧問は、重要事項について会長の相談に応ずる。

第5章 会議

- 第16条 総会は、原則として毎年1回開催し、次の事項を審議決定する。
- 一 事業及び決算報告
 - 二 事業計画及び予算
 - 三 会則の制定及び改廃
 - 四 役員を選出
 - 五 顧問の推挙
 - 六 その他の必要と認める事項
- 2 会長は、総会を召集し、理事会の議を経て前項に定める事項を提案する。
- 第17条 会長は必要と認めたとき、臨時総会を開催する

- ことができる。
- 第18条 総会の議長は、出席会員の中から選出する。
- 第19条 総会は、日時、場所、付議すべき事項等を示して召集する。
- 第20条 総会に出席できない会員は、あらかじめ文書をもって意見を表示することができる。
- 第21条 総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。
- 第22条 総会は、議事録を作成し、これを保存する。
- 第23条 理事会は、会長、副会長、理事及び幹事によって組織する。
- 第24条 理事会は、会長が必要と認めるとき、又は理事の5分の2以上の要求があったときに開催する。
- 第25条 理事会は、会長が召集し、議長は会長がこれにあたる。
- 第26条 理事会の議事は、出席者の過半数で決する。
- 第27条 理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

第6章 会計

- 第28条 本会の経理は、会費及び寄付金、その他の収入を持って充てる。
- 第29条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。
- 附 則 この会則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成20年4月1日から施行する。

熊本大学医学部保健学科同窓会会計細則

- 同窓会費は1万円とし、本学科入学および大学院入学時に一括納入することを原則とする。
 - 本学科同窓会費は、同窓会運営費として使用する。運営費以外に使用する場合は、同窓会理事会の承認を必要とする。
 - 旅費に関しては、旅費規程に則って支給する。
 - 金融機関への振込手数料は、会員の負担とする。
 - 金融機関に同窓会の口座を設け、会計が通帳・印鑑を管理する。
 - 同窓会費の徴収は、入学時に行い、徴収後は速やかに同窓会費支払者名簿を作成する。
 - 会計は、会計年度終了時に速やかに決算報告書を作成し、監査を受ける。
 - 本細則の改正は、同窓会総会で行う。
- 附 則 この細則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成25年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成28年11月7日から施行する。

平成28年度熊本大学医学部保健学科同窓会名簿

名誉会長：吉永一也（熊本大学大学院保健学教育部長 熊本大学医学部保健学科長）

会長：橋田昌弘（熊本大学医学部附属病院 医療技術部）
副会長：肥合康弘（帝京大学福岡医療技術学部）
春田昭一（済生会熊本病院）

東京連合同窓会幹事：
松下洋一（株式会社バイオトクステック）

九州連合同窓会幹事：
南光昭（九州労災病院）
荒木加代子（NTT西日本人事医療厚生部門）
藤村佳世子（九州ブロック血液センター品質部検査三課）

理 事：
（看護） 田中シゲ子（旧医療技術短期大学部教員）
本尚美（熊本大学医学部附属病院 看護部）
田中紀美子（九州看護福祉大学）
小藺真知子（熊本保健科学大学 言語聴覚学専攻）
大澤早苗（熊本保健科学大学）
宮里邦子（九州看護福祉大学）
（放射） 荒木不次男（熊本大学医学部保健学科）
和田博文（済生会熊本病院）
大野剛（熊本大学医学部保健学科）
（検査） 増永純夫（熊本中央病院）
前田浩（熊本市市民病院中央検査部）
中村直子（熊本大学生命資源研究・支援センター）

幹 事：
（看護） 井村昭寛（熊本整形外科病院）
島田久仁子（熊本大学医学部保健学科）
（放射） 辻田直子（熊本大学医学部保健学科）
（検査） 田崎雅義（熊本大学医学部保健学科）
梶原隆太郎（熊本大学医学部保健学科）
高島裕子（熊本大学医学部附属病院 医療技術部）

会 計：松本佳代（熊本大学医学部保健学科）
吉田佳代（熊本大学医学部保健学科）

監 事：右田香魚子（元熊本大学医学部附属病院 看護部）
木村真知子（元熊本大学医学部附属病院 看護部）

学生幹事：伊藤鈴菜（熊本大学医学部保健学科看護学専攻）
児玉茉希（熊本大学医学部保健学科看護学専攻）
星田憲人（熊本大学医学部保健学科放射線技術科学専攻）
池部柱生（熊本大学医学部保健学科検査技術科学専攻）
古賀恵（熊本大学医学部保健学科検査技術科学専攻）

編集後記

“毛布を配る”、“体の不自由な方の身の回りの世話をする”、“お年寄りに声をかける”、“寝床の準備をする”、“配膳をする”。これらは、震災後の避難所で目にした光景です。学生たちが地域住民のために率先して行動していたのです。彼らもみなと同様に、被災者であるにも関わらず、医学の勉強を始めたばかりの彼らから、医療人として大切なことを教えてもらいました。人のために先頭に立ち、行動できる彼らを教員として、同窓生として、大変頼もしく、誇らしく思います。

来年の同窓会総会、懇親会は例年通り、7月第1土曜日に開催致します。みなさんお誘い合わせの上、ご臨席賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。震災から復興しつつある学び舎や在校生にぜひ会いに来てください。

（保健学科同窓会役員）

島田久仁子、田崎雅義、辻田直子、井村昭寛



看護職員募集

熊本大学医学部附属病院看護部

熊本大学医学部保健学科同窓生の皆様へ
“私たちと一緒に働きましょう”

私たちの病院は、看護職員一人ひとりが専門職としての能力向上につながるキャリア開発支援と生き生き働き続けられる職場づくりを目指しています。

病院も再開発が進み新しくなりました。学生時代に学んだ熊本大病院で看護をしてみませんか。
詳細はホームページをご覧ください。

